

Rotary



SERVE TO CHANGE LIVES

2021-2022 年度

国際ロータリーのテーマ

奉仕しよう

みんなの人生を豊かにするために

国際ロータリー会長

シェカール・メータ

第 2790 地区ガバナー 梶原 等

第 7 グループ

ガバナー補佐 秋葉 芳秀

東金ロータリークラブ会長 並木 孝治

〃 幹事 後藤 陽功

東金ロータリークラブ 概要

Togane RC Information

創立 1959 年 9 月 15 日

R I 承認 1959 年 10 月 17 日

例会日 火曜日 12:30~13:30

例会場 東金商工会館 4 階

Makeup fee ¥2,000

WEB <http://www.togane-rc.jp/>

事務所 〒283-0068

千葉県東金市東岩崎 1-5

東金商工会議所内

TEL 0475-52-1101(代)

FAX 050-3730-2559

E-mail info@togane-rc.jp

第 63 巻 第 24 号 通巻第 2898 号

第 2937 回 例会

2022 年 (令和 4 年) 6 月 14 日

ロータリー親睦活動月間

12:30 点鐘 東金商工会議所 4 階例会会場

Program 通常例会

開会宣言・点鐘	並木孝治会長
歌	我らの生業
四つのテスト唱和	後藤陽功幹事
会長挨拶	並木孝治会長
幹事報告	後藤陽功幹事
委員会報告	各委員会
ニコニコ BOX.出席報告	親睦委員会,管理運営委員会
閉会宣言・点鐘	並木孝治 会長
お食事 (弁当)	竹田屋



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

第 2936 回 RC 例会の記録 <6月7日>

会長挨拶



並木孝治会長

本日は成田空港南 RC の富さんにお越しいただきこのあと卓話をお願いしております。前回5月28日は米山記念館に研修旅行に行っておりました。天候に恵まれ、都内は渋滞がありましたがそこを抜けると快適なドライブになりました。現地にはほぼ予定通り到着し充実した研修旅行になりました。

私の会長の任期もいよいよ最終月になりました。最後まで精一杯努めますのでどうかよろしくお願いいたします。

幹事報告



後藤陽功幹事

1 第11回理事会報告

①2022-23 年度役員・理事・委員会メンバー表の承認について

皆様の手元に一覧表を配付しております。この内容で承認されましたのでご報告いたします。

②各委員長の活動計画書の提出期限について

各委員会の委員長さんは今月 21 日の例会までに来年度の活動計画書の提出をお願いいたします。お配りした次年度役員表に記載のある各委員長さんは期限厳守でよろしくお願いいたします。

③6月28日最終移動例会開催場所について

開催場所と点鐘時刻が決定しました。会場については「志津本」、点鐘 19 時、その後懇親会となります。料金は飲み放題 8 千円ですが、補助がありますので登録料は 5 千円といたします。

④その他

ボーイスカウトへの寄付ですが、例年通り来期も 1 万円を寄付することと決定いたしました。併せて米山記念館に行った際に 1 万円の寄付をしておき、こちらも承認されました。

2 各種寄付についての報告

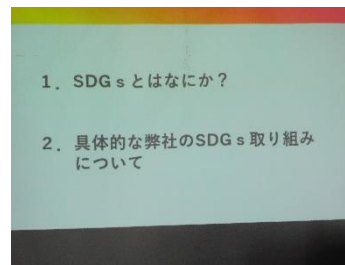
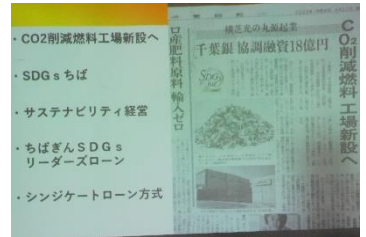
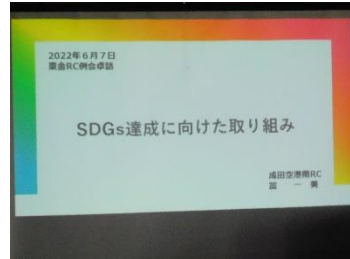
今期、秋葉会員にベニファクター 1000 ドルの寄付をいただきました。後藤会員は米山に 10 万円の寄付をしていますので報告いたします。



誕生日祝い



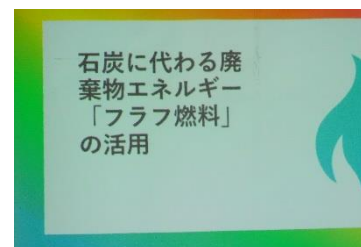
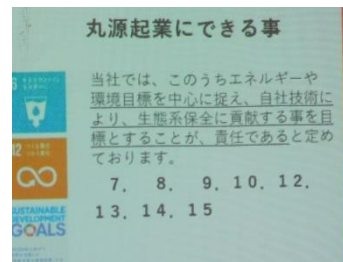
高瀬勝会員 並木孝治会長 濱井事務局
小林信雄会員 岡本秀男会員



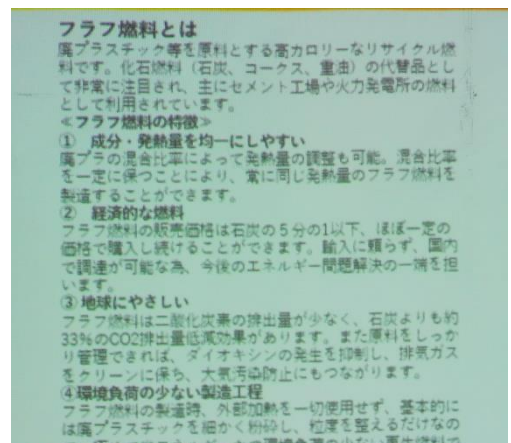
卓話

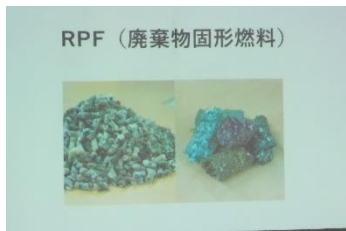


紹介 秋葉芳秀会員



富一美 成田空港南 RC 会員





施設概要

フラフ燃料(廃棄物燃料)製造プラント一式

- ・ 総事業費: 協賛融資約18億円 + α 約20億円
- ・ 生産規模: 年間計画数量約5万t ~ 最大約10万t
- ・ 使用用途: いずれも石炭代替燃料としてセメント焼成燃料及びボイラー燃料や火力発電用燃料に使用

**【事業の効果】
二酸化炭素排出量削減効果**

- ・ 計画数量年間5万tを燃料化した際、石炭と同等カロリーのフラフ燃料を燃焼させた場合、石炭燃焼時に比べ、約33%排出量削減が見込める為、約4万tの二酸化炭素低減効果が期待できる。

【事業概要】

- ・ 近年国内で問題になっているプラスチックごみ等の産業廃棄物を収集し、20ミリ以下にまで破砕し生成したフラフ燃料(廃棄物燃料)を、セメントメーカー向けを中心に、石炭代替燃料として大規模に生産するプラントを新設する。
- ・ 関東圏内にて大量に発生し行き場を失ったプラスチックごみ等を収集及び燃料化し、関東圏内外の大手セメントメーカーの各工場を中心として石炭代替燃料として利用してもらう事で、同地域内にて発生する廃棄物の永続的な再生燃料化及び環境負荷を低減したインフラ整備構築に大きく貢献できる。
- ・ 同地域内での災害時における災害廃棄物受入体制も構築し、過去の災害廃棄物処理実績を踏まえてプラントを設計する。

6月7日

会員数	23名
出席会員数	17名
メイキャップ	3名
修正出席率	77.27%
ニコニコBOX	
コインBOX	
合計	4,021円

フラフ燃料製造プラント新設概要

【事業概要】

- ・ 近年国内で問題になっている産業廃棄物を収集し生成したフラフ燃料(廃棄物燃料)を、セメントメーカー向けを中心に、石炭代替燃料として大規模に生産するプラントを新設する。
- ・ 関東圏内にて大量に発生し行き場を失ったプラスチックごみ等を収集及び燃料化し、関東圏内外の大手セメントメーカーの各工場を中心として石炭代替燃料として利用してもらう事で、同地域内にて発生する廃棄物の永続的な再生燃料化及び環境負荷を低減したインフラ整備構築に大きく貢献できる。
- ・ 同地域内での災害時における災害廃棄物受入体制も構築し、過去の災害廃棄物処理実績を踏まえてプラントを設計する。

- ・ 二酸化炭素排出量の多いセメント産業では、従来からもプラスチックごみを石炭代替燃料として活用してきたが、将来的に石炭の使用を現状よりさらに大幅に削減しなければならない事が喫緊の課題となっている。
- ・ また、近年国内にてマテリアルリサイクル(原料化)に適さないプラスチックごみの受け入れ先確保が困難になりつつあり、国土の狭い日本では、最終埋め立て処分場の残余年数が急激なペースで逼迫してきている。
- ・ そこで、当社が長年培ってきた廃棄物の燃料化技術の集大成として、新たにプラスチックごみ由来の燃料化プラントを建設し、従来から納品実績のあるセメントメーカー各社を中心に、フラフ燃料(廃棄物燃料)を石炭代替燃料として大量に有効活用してもらう事で、プラスチックごみ発生量の多い関東圏内の大きな受け皿として、計画プラントが機能するとともに、最終埋め立て処分場の延命が大いに期待できる。

今後の予定

6月

21日 通常例会、委員会報告

28日 夜間移動例会、役員交代
19時点鐘・志津本

7月

5日 理事会、通常例会
新旧会長幹事引継
誕生日祝、結婚記念日祝
活動計画発表

12日 通常例会、活動計画発表

19日 祝日週休会(海の日)

26日 通常例会、活動計画発表

今後の日程について変更の可能性
があります。

日程の変更にはご注意ください。